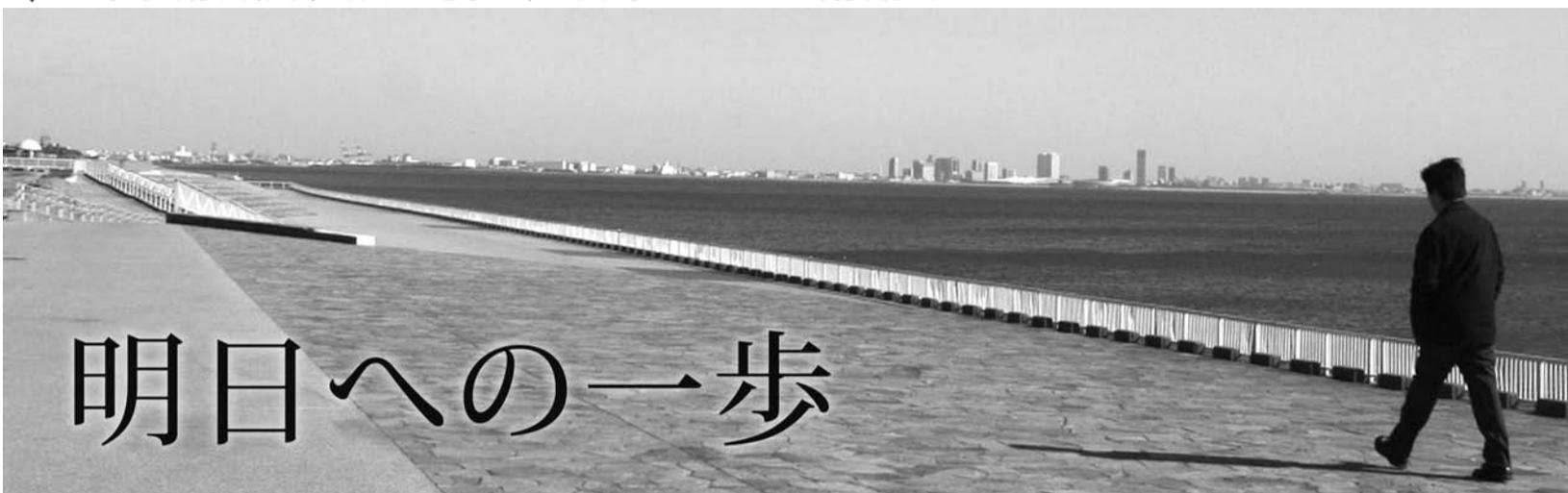


◆ 千葉県議会議員（浦安市選挙区）・矢崎けんたろう議会報告



明日への一歩

2009年、年頭の言葉には「明日への一歩」という言葉を選ばせていただきました。

景気がどん底に向かっていっている中とかげの尻尾を切るように、派遣社員や契約社員が切られ、内定は取り消しとなり、下請け企業には仕事が回らなくなり……。これからますます悪くなるぞ」とあちらこちらで囁かれています。多くの人々が明日へ抱いているものは、「期待」よりも「不安」や「恐怖」なのかもしれません。

しかし、「こんな世の中に誰がした」、「こんな社会はもうゴメンだ」。そんな嘆きの中に混ざりこんでいる「気づき」が、大きなウネリになってきている手応えを感じています。長きに渡る自民政権の結果が今の社会です。この世の中には、多くの人が期待をこめて票を投じ、その担い手に実現してほしいものとは確実に違はずです。「こんなはずではなかった」という気づきこそ、明日への一歩。

今、日本は、たいへんな重荷を背負っています。まだ間に合います。変わることができるのです。景気対策以外に必要な公共事業や、増税前提のばら撒きをやめ、真に豊かな国家とは何か。それを突き詰めて議論することが、今最も求められる政治の姿ではないでしょうか。

そんな政治を選ぶ機会が今年中に確実にやってきます。明日への一歩を踏み出し始めた人々が、「日本を変える」ことを選ぶことを信じて、私は私の歩みを着実に続けて行きたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願いたします。

指定管理者に行政の責任までも委託することはできない。

12月議会の議案の多くは、「指定管理者の指定」についてのもの。63議案中49議案がそれでした。

指定管理者制度とは、2003年に改正された地方自治法に加入った制度で、それまで、地方公共団体や外郭団体に限定されていた公共施設の管理・運営を、民間企業・NPOなどが担えるようになりました。民間の発想やノウハウなどを活用し、サービスの質アップやコスト削減などを狙ったもので、千葉県では、2006年3月に指定管理者の指定のための手続き等を定めた「公の施設に係る指定管理者の指定の系統等に関する条例」を制定。原則的にすべての公の施設に指定管理者制度の導入を検討しています。

「民間の力で、サービスが良くなり、コストも下がる」。いいことづくめの、制度のように思えますが、導入の最大の狙いは「小さな政府」を旗印にした「コスト削減」であるため、どうも「いくら安く作った」というような金銭面での効果ばかりが注視され、モニタリングの甘さが課題となっているようです。

私は、民間の効率的な経営能力や、利用者の要望に柔軟に対応できる力などを公共施設の管理・運営に活用することは歓迎すべきことだと思っています。が、「丸投げ」するのではなく、きちんと利用者の声を聞き、より良いサービスの提供について、指定管理者と共に協議していく責任が、当然ながら

行政にあると考えています。

民間では、委託先や外注先が提供するモノやサービスの品質を管理することは当たり前。期待する基準を満たさなければ、厳しい指導があり、場合によっては契約を打ち切られることもあります。すべての公共施設に「指定管理者制度」の導入が検討されている中、どんな形で委託したサービスの質を確保・向上させていくのか、行政の管理能力が、ますます問われていくことなるでしょう。

今回出された議案のうち、何件かは「継続審議」になりました。今後も、その指定管理者を指定することが県民の利益になるのかという視点で、慎重に審議することが、議会が果たす役割と捉えて、意思決定をしていきたいと思っています。

県議会報告



09/冬

民主

【Profile】市立見明川小、見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、現みずほ銀行に入社（16年勤務）。2007年4月、民主党公認で県議会に出馬し初当選。
<http://www.yazaki-kentaro.jp>

県政世論調査。県民が求める施策上位は？

県が、毎年行っている「県政世論調査」の結果が発表になりました。今回は、県に特に力を入れて欲しいものとして「高齢者福祉」をあげた人が35.1%で1位。2位は、「災害から県民を守る」(33.3%)、3位は「医療サービス体制の整備」(30.9%)でした。

「高齢者福祉」「災害対策」「医療体制」どれも、県民生活に密着した大切な施策です。大型公共事業や規制緩和などで、業界や大企業を守っても、長い間社会を支えてこられた高齢者の方を守ることができない。県民・国民の健康や生活を守ることができない。日本は、国においても地方においても、長い間施策の方向性を誤ってきたと思います。

千葉県の厳しい財政は、この不況で更に厳しさを増しています。しかし、予算が厳しいからといって、こうした調査の結果を真摯に受け止め、施策の優先順位をつけなおす必要を感じます。

あなたが、県政に求める施策はなんですか？声をお聞かせください。

12月 県議会

2期8年、堂本県政の総括を質疑

千葉県議会12月定例会が、11月26日から12月19日までの24日間にわたり開催された。12月2日に行われた民主党の代表質問では、竹内圭司議員が登壇。知事の政治姿勢など12項目について、質問を行った。



竹内圭司議員

2期8年の 堂本県政の総括は?

竹内県議は、09年3月に任期末を迎える堂本曉子知事に、「2期8年の県行政について、総合的にどのような自己評価しているのか」と問うた。堂本知事は、「(知事に)就任してみると、県政は、バブル経済の崩壊によって危機的な状況にあったとし、「支庁制度の見直しをはじめとした組織改革、職員定数の削減など行財政改革を断行しました」とした。また、「16年間機能が停止していた収用委員会の再建、住宅供給公社の債務処理、三番瀬海域における漁業補償問題は、(中略)大変な力仕事であった」とし、県政運営については、「一貫して、徹底した情報公開と県民参加を基本理念に掲げ、真の

健康保険無保険の 子どもの救済を!

竹内議員は、「国民健康保険料の滞納による無保険世帯のうち、中学生以下の子どもが無保険者をなくすため、県独自の対策として、(子どもについては)一律に通常の保険証を出すべき」と指摘した。

北総線運賃問題の 解決を求める

高運賃が課題となっている北総鉄道に關連し、竹内議員は、「(10年度開通予定の)成田新高速鉄道の運賃協議をどのように把握しているのか」と質問。植田副知事は、「運賃は鉄道事業法の規定に基づき、京成電鉄が運賃認可を申請し、国の適正な審査を経て決められる」とし、「その際には、委員6人からなる運輸審議会に諮ることとされている」と答えた。



建設が進む成田新高速鉄道。開業に合わせ、運賃がいくらになるか、注目される。

民主党

予算要望書を知事に提出

12月定例会の最終日にあたる12月19日、来年度(平成21年度)の予算編成に対する民主党千葉県議会議員会の要望書を、堂本曉子知事に知事室で手渡しました。内容は、県民の生活に係る事項を中心に、1・15項目にわたります。

「医療機関等に対しても、(無保険で)受診した子どもがいた場合には、市町村の窓口への相談を勧めるよう依頼していく」とした。

「05年に開業したつくばエクスプレスの運賃認可申請などのタイム・スケジュールを十分念頭におきながら対応していく」と答弁した。

政務調査費の 透明性が向上

12月千葉県議会において、県議会議員の政務調査費にかかわる条例が、全会一致で改正された。これにより、これまで民主党などが強く求めてきた、政務調査費の使用の透明性の確保などが、大きく改善された。

今回の改正により、来年度から、視察を行った際の報告書の添付や、支出の証拠となる領収書の写しの添付などが義務づけられる。また、それらは全て県民に公開される。条例を提案した県議は、提案理由の説明の中で、「全国的に見ても他県をリードする先進的な内容」と述べた。

また、現在の景気悪化による雇用・労働の問題について、知事と情報共有を図りながら、意見交換をしました。

来年年度の予算編成は、3月に知事選挙があるため、骨格予算(経常的な予算のみ)計上し、選挙後に政策的な予算を計上する」となります。そのため政策的な必要はなかなか反映されづらいのですが、県議会選挙マニフェストを中心とする民主党の政策を実現していくため、これからも努力します。

堂本知事に予算要望書を手渡す田中明議員会長

(予算要望書作成チーム・布施健太郎)

県議会 民主党 所属議員



田中 明
(船橋市)



黒田 雄
(千葉市花見川区)



河野俊紀
(千葉市美浜区)



杉田守康
(市原市)



湯浅和子
(松戸市)



田中信行
(千葉市若葉区)



堀江はつ
(船橋市)



竹内圭司
(千葉市緑区)



小泉文人
(市川市)



花崎広毅
(我孫子市)



高木 衛
(市原市)



岩井 覚
(八千代市)



横堀喜一郎
(茂原市)



天野行雄
(千葉市稲毛区)



遠藤英喜
(松戸市)



石井宏子
(君津市)



篠崎史範
(鎌ヶ谷市)



矢崎堅太郎
(浦安市)



布施健太郎
(習志野市)



高松健太郎
(柏市)



磯部裕和
(野田市)